

山ごころ

大滝せせうぎ

里ごころ

はたおと秩父

ごもつともさま



秩父市

地域おこし協力隊

No. 39 (2月号)



落合の雪景色

季節の香り 季節のめぐり

谷口

ちやうど今この記事を書いている

日に大雪が降りました。

私はここまでの大雪はほぼ初体験で、

近所の方におそわりながら、雪かき

してまいります！

この前、「移住・交流&地域おこし

フェア」というイベントに

いってきました。

そこで、会場にこられた方と交流をしたのですが、

持ち込んだ特産品を見て「秩父にもこんな色々な

ものがあるんだ」と、びっくりされていました。

氷柱も知らない方もたくさんいて。

私も含め、住んでいると漠然としてしまいますが

それでも確かに、秩父・大滝には魅力的なモノが

とてもたくさんあるんです！！

今回は氷まつりで出ずる定だった。ゆず湯の作り方

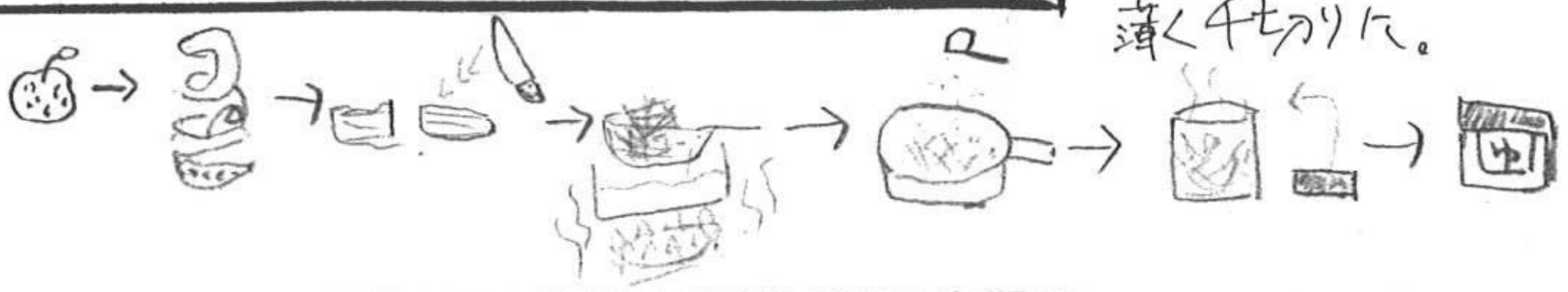
を書いてみました。

今年は雪のために開催できなかった氷まつりですが、

来年はもっと！準備して色々やってみたいなあ...

ゆず湯の作り方
～下ごしらえ～

- ゆずをよ〜く洗い、皮をむきます。
- この時、出来るだけ白いワタがつかないように丁寧に！(苦味があります。なのでお好みで！)
- むいた皮は触感のことを考えて、出来るだけ薄く切ります。



残った実を割り、果肉と果汁を取り出しておきましょう。
～作成～

- ① 刻んだ皮をしっかりと湯通し。苦みが弱まりますが、香りも弱く。好みの時間を見つけてみましょう！
 - ② お風呂に①の皮を入れ、せとう・果肉・果汁を加えて煮込みます。甘さひかえめ... だと薄み(すくなる)ので、こ牛鬼(きつて砂糖は多めに！)コゲつかないようにまぜながら、アクをとりうす、水分が少なくなったら完結！せとうがたんぱんしているのでもって熱いです。味見の際に充分分量を。手間がかかりますが、難しくはありません。(保存容器の消毒もしっかりと！)
- ゆず湯といってもほぼマレードなので、パンでのせたり、煮込みの甘みにつかっても、おいしいです！

2月は、三峯神社の「こも、ともさま」秩父神社の「鬼やらい」諏訪神社の「福神めぐり」と、「豆まきの秩父」独特な祭事が各地で開催。長瀬だてでなく、小滝野町のあずま山でもロウバイとして福草草が見られ、私自身はあまり祭事に係らずに生まれてきました。準備してもお正月のおせちくらい、こもは心機一転、あちらこちらに顔を出し参加していただきたいです！

ご意見ご要望お受けたいので、ご意見ありましたら、秩父市役所大滝総合支所地域振興課(谷口まで)！

TEL 0494-5510862

ちちぶ銘仙館

リニューアルオープン!!

平成14年にオープンしたちちぶ銘仙館、展示室を中心にリニューアルします!!今までは皆様に寄贈いただいたものを展示していた展示室ですが、この度秩父銘仙の歴史や製造工程が分かりやすくなるようパネルを設置し、また現在の秩父銘仙もご覧いただけるようになります。

2月14日(日)と20日(土)までお休みをいただきます、21日(日)にオープン予定です!ぜひ遊びにいらして下さいね!!

ちちぶ銘仙館 3月の企画展

3/16(水)と3/22(火) @銘仙館ゼラリー

”紡いで繋ぐと秩父とケニアとスウェーデン?”

秩父・ケニア・スウェーデンで学んだ南麻耶さんの作品展。簡易織機「ORICO」のワークショップもあります!

里ごころ はたおと秩父



腰かけて、足と腰と手を使って織る「居生機」

お問い合わせ
秩父市役所 商工課
地域おこし協力隊
佐俣 菜津子
Tel: 0494-25-5208
Mail: syoko@city.chichibu.lg.jp

銘仙豆知識

柄の銘仙は乃木大将から?!

乃木希典まれすけといえは、日露戦争において旅順攻略を指揮し、明治天皇の大葬の日に殉死した明治期の陸軍大将です。(乃木坂の名前の由来の人物でもあります)彼が学習院大学の院長だった時、女子生徒の服装が華美であるとして、銘仙着である銘仙に代えようとした。しかし生徒たちに銘仙は地味だと受け入れられず、伊勢崎に相談して柄の銘仙が開発されたという逸話があります。大胆な色柄の銘仙誕生の裏には、今の時代にもある先生と生徒の服装論争があったのかもしれないですね!



大正時代には、くるぶしの長さまである羽織や、ミニ丈の袴が流行したとか...

「残念袴」と呼ばれて生半端袴の「おまじない」。

タイツや膝上のくつ下をいいて、洋靴をはきます

秩父歳時記 2月

秩父はお祭の多い町!! その一部をご紹介します!

ごもっともさま

2月3日

三峯神社の節分行事として「ごもっともさま」と呼ぶ珍しい神事が行われます。官司以下の祭員と年男たちは袴に着替えて祭が行われます。祝詞には、五穀豊稔、大漁満足・天婦内満・開運長寿の願いが込められ特に子授けには良いとされています。祭の後は豆まきが行われますが、年男たちが「福は内」と唱えた後に後の添人が大声で「ごもっともさま」と叫びつつ、巨大なごもっとも様を上方に突き出します。ごもっとも様は長さノメートルの檜の棒で、頭に縄をまき、根元にみかんを2つ下げたものです。



ごもっともさま

伊豆沢文殊様 伊豆沢の天気占い

2月11日

秩父群小鹿野町伊豆沢の諏訪神社で行われる行事です。官元と呼ばれる三家が執り行いますが、前日までに桃の枝に麻縄を張った弓を三本と、篠竹に和紙の矢羽根を付けた矢を八本用意します。お祭当日は、まず「悪魔、払い」として矢2本を的を射越して放ちます。その後残りの6本を交代で射て半年の天候を占います。矢を捨ててまたその後の半年の天候を占います。矢が的の白い部分に当たるとその月は晴れ、黒い部分に当たると雨または曇り、的から外れた場合は風が多いという結果になります。

